

**令和2年度
バリアフリー・ユニバーサルデザイン
推進功労者表彰**

受賞事例集



令和2年度

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施いたしました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子供連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。

関係府省庁、都道府県、政令指定都市を通じて推薦のあった31件の事例のうち、今年度は、内閣総理大臣表彰2件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞3件及び奨励賞4件が選考され、表彰式において、菅内閣総理大臣及び坂本内閣府特命担当大臣から受賞者・受賞団体代表者に対し、表彰状が授与されました。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集を活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「国民一人一人が自立しつつ互いに支え合う共生社会の実現」を目指した心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。



令和3年3月
内閣府

令和2年度（2020年度）バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式

開催日：令和2年（2020年）12月16日（水）

開催場所：内閣総理大臣公邸大ホール



令和2年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

令和2年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰には全国から「施設整備」4件、「製品開発」6件、「活動等」21件、計31件の応募がありました。いずれも優れたものばかりで、ご推薦いただいた関係省庁、各都道府県・政令指定都市の皆さまに深くお礼申し上げます。第1次審査では各推薦団体から提出された応募書類により各選考委員が書面上で予備審査を行いました。その結果を基に選考委員会で慎重に協議し、現地調査候補を選考しました。現地調査では各推薦団体から提出されていた応募書類の事実確認、施設や製品、活動の現状確認、追加ヒアリング等を行いました。最終選考委員会では各委員からの現地調査報告を基に厳正な審議を経て下記9件を今年度の受賞者を選出しました。

内閣総理大臣表彰を受賞された株式会社アステムは、長年にわたり、映像、衛星通信事業に取り組み、聴覚障害者をはじめとする多様な障害者の立場に立脚した動画、字幕、手話、音声解説の同時配信に多大な貢献をされています。特に国内外の標準規格に認定されたセットトップボックス（STB.受信装置）の技術開発、国や自治体の手話と字幕付き防災動画等の配信など多方面にわたる情報アクセシビリティの推進が極めて高く評価されました。同じく内閣総理大臣表彰を受賞された東急電鉄株式会社は、移動の困難な高齢者や障害者のためにホームドアをはじめとする安全対策の徹底を他社に先駆けて推進してきました。特に2014年に計画策定した全駅でのホームドアの設置を達成し、また従業員のコミュニケーションスキルを向上させるユニークな「接客サービス選手権」を2001年から毎年開催する等、ハード面とソフト面の一体的なバリアフリー化の取り組みが極めて高く評価されました。

内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞された岡山放送株式会社「手話が語る福祉」制作チームは、1993年からニュース番組に手話通訳を導入し、局内独自の当事者参加の手話放送委員会を立ち上げ、聴覚障害者のコミュニケーション問題をいち早くメディアとして捉え発信してきた点が高く評価されました。同じく優良賞を受賞されたセイコーウオッチ株式会社は、1979年に視覚障害者のための世界初のクォーツ式触読時計を開発し、1998年には音声デ

デジタルウォッチを製品化するなど長年にわたり視覚障害者に信頼される時計開発を展開、同業界の技術的牽引役を果たしていることが高く評価されました。同じく優良賞を受賞されたPalabra株式会社は、映画のバリアフリー化のために設立され、話者名、音楽、効果音などを含む字幕、多種の音声ガイドの制作に当事者と一体となって取り組み、映画から演劇まで多様な障害者の文化芸術活動に貢献していることが高く評価されました。

また、内閣府特命担当大臣表彰奨励賞を受賞された奥山梨衣氏は、医療的ケア児の保護者として、外出時に利便性が高くおしゃれな吸引機収納バッグの開発を独自に行い、今日では多くの保護者から信頼され、開発、販売、普及啓発に努めている点が高く評価されました。同じく奨励賞を受賞された神奈川トヨタ自動車株式会社は、ユニバーサルデザインタクシーの販売を契機に、タクシードライバーにもユニバーサルエスコートマナーが必要と考え、障害者当事者、デイサービス機関、助産師会、理学療法士会等の協力を得ながらドライバー講習を実施、乗降場所や利用時のマナー啓発を行っています。この取り組みをハンドブックにまとめ、さらなる普及活動を推進していることが高く評価されました。同じく奨励賞を受賞された大日本印刷株式会社は、日本のおもてなしともいえる助け合いの精神を気軽に表現できるようにと身近でユニークな助け合いスマホアプリ「May ii」（メイアイ）を開発、手助けを求める利用者と手助けする側が容易にマッチングでき、かつ困っていることの気づきを学ぶ心のバリアフリー活動につながるものが高く評価されました。同じく奨励賞を受賞された特定非営利活動法人福祉住環境ネットワークこうちは、専門職でもある福祉住環境コーディネーターのネットワーク活動から、安心して出かけられるタウンモビリティ・サービスを事業化するという地方都市での商業活動を支援し、ユニバーサルで魅力あるまちづくりに貢献している点が高く評価されました。

以上の受賞された各団体・個人のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進事業は、私たちの共生社会をより豊かに発展させていくものと確信します。いよいよ令和3年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。これら受賞事例が、国内だけでなく海外でも注目され、本表彰の目的でもあります優れた取組が各地に広く波及していくことが期待されます。最後になりますが、多くの団体をご推薦いただきました都道府県・政令指定都市を始め全国各地の関係諸機関に改めて深く感謝申し上げます。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン
推進功労者表彰選考委員会

委員長 高 橋 儀 平

目 次

内閣総理大臣 表彰（2件）

- ①株式会社 アステム 1
- ②東急電鉄株式会社 3

内閣府特命担当大臣 優良賞（3件）

- ①岡山放送株式会社「手話が語る福祉」制作チーム 5
- ②セイコーウオッチ株式会社 7
- ③ Palabra株式会社 9

内閣府特命担当大臣 奨励賞（4件）

- ①奥山梨衣 11
- ②神奈川トヨタ自動車株式会社 13
- ③大日本印刷株式会社 15
- ④特定非営利活動法人福祉住環境ネットワークこうち 17

- これまでの受賞者一覧 20
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領 29
- 選考委員会委員名簿 30

内閣総理大臣 表彰

厚生労働省推薦

株式会社 アステム

(大阪府大阪市)

【概要】

- 株式会社 アステムは、1974年の設立直後から行政や団体のビデオ映像による広報制作に取り組み、1995年の阪神・淡路大震災でテレビの音声情報を得られない聴覚障害者の苦難を知り、手話と字幕で情報を得ることができる「目で聴くテレビ」の設立に参加、障害者の声を踏まえた技術や工夫により、ニュース番組や動画、シンポジウム、セミナー等において、字幕・手話通訳・音声解説を付与し、様々な局面でのSDGsの理念に対応した情報アクセシビリティの向上に寄与している。

【功績・功勞】

- 全日本ろうあ連盟、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会とともに、手話言語と字幕で情報を得ることができる「目で聴くテレビ」の設立にコアメンバーとして参加、専用受信装置「アイ・ドラゴン」を開発した。「アイ・ドラゴン」シリーズは身体障害者日常生活用具に指定され全国に約20,000台普及、1つの画面で映像と手話通訳、字幕の同時視聴を可能としている。ニュース番組や緊急災害放送の手話通訳・字幕付でのリアルタイム視聴や、オリジナル手話付き番組等約1,000本を24時間いつでもアーカイブで視聴可能である。



「目で聴くテレビ」メニュー画面



聴覚障害者用情報受信装置
「アイ・ドラゴン4」



映像・手話・字幕を1画面に表示



「目で聴くテレビ」番組 (大臣会見)

- 「アイ・ドラゴン」での手話・字幕の表示方法がきっかけとなり、2015年国際電気通信連合 (ITU-T) でアクセシビリティ情報の表示に関する国際標準規格が成立。2016年には、(一社) 情報通信技術委員会 (TTC) 国内標準規格となった。

現在、エクアドルの視聴覚障害者放送アクセス向上事業の実証実験 (手話、英語字幕) を実施している (JICA採択事業)。



エクアドルの身体障害者団体でのアイ・ドラゴンの実演

- 地上デジタル放送への移行後、テレビ音声がラジオで聞けなくなった視覚障害者の声に応え、「テレビが聞ける」ラジオを開発、全国の約4分の1の市町村で身体障害者日常生活用具に指定され、全国に約8,000台普及した。



「テレビが聞ける」ラジオ



側面

- 国の審議会等の情報保障を数多く担当し、聴覚障害のある委員の特性等に配慮した席の配置や手話通訳者、字幕入力者の配置など、情報保障に数多くの経験を活かし、会議の中で聴覚障害者委員への手話通訳・字幕による情報保障を行うとともに、会議の動画に手話、字幕を付与して全国の障害者も会議の様子を視聴可能となる取組を実施してきた。

- 警察職員に対して、障害を理由とする差別の解消、障害者への接遇の在り方等について教養を実施するための映像教材を収録したDVDを制作し、全国の警察で活用されている。また、「障害者差別解消法」の解説については、「手話・音声ガイド付き」のものを作成し、全国の警察職員が視聴覚障害者に関心を寄せるきっかけとなっている。



障害者への接遇DVD

内閣総理大臣 表彰

国土交通省推薦

東急電鉄株式会社

(東京都渋谷区)

【概要】

- 東急電鉄株式会社は、全ての人に安全・安心で快適な鉄道を利用していただくために、ハードとソフトの両面から安全確保やバリアフリーの取組を行っている。

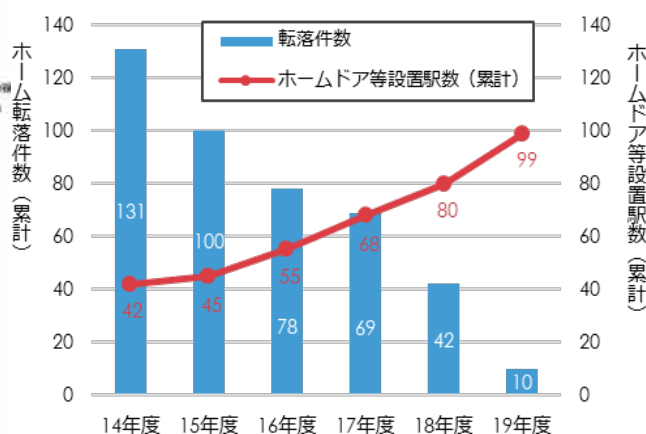
ハード面に関しては、東横線・田園都市線・大井町線・目黒線の全ての駅にホームドアを設置し、池上線・東急多摩川線では全ての駅にセンサー付き固定式ホーム柵を設置している。

ソフト面に関しては、駅係員同士の連絡ミス防止による車椅子利用者へのサービス向上を目的としたアプリの開発や、全ての駅係員や乗務員のサービス介助士の取得等、様々な利用者に対して接客技術の向上を目的とした取組も実施している。

【功績・功労】

- 大手民鉄初の取組として、2019年度末までに全ての駅(※)にホームドア又はセンサー付固定式ホーム柵を設置した。これによりホーム上の安全性向上、安定運行にも大きな効果を発揮し、ホーム転落事故件数の減少に寄与、2014年度と比較して転落事故9割減を達成している。

(※軌道線である「世田谷線」、第2種鉄道事業(列車運行・料金収受のみ実施)である「こどもの国線」を除く)



ホームドア等の設置駅数とホーム転落件数の推移



ホームドア



センサー付固定式ホーム柵



渋谷駅改札口の映像画面
※ 緊急時には文字情報を提示

- 改札口やホームドアに設置されているデジタルサイネージは、緊急時には映像による情報が提示され、聴覚障害者等の情報を確保することとしている。

- 車椅子利用客へのサービス向上を目的とした「バリアフリー連絡アプリ」(駅係員用)を開発し、駅係員同士の情報伝達ミスによる案内の不手際発生防止・減少させるとともに、「東急線アプリ」(利用者向け)による運行情報・バリアフリー情報の提供により、サービス向上に向けた取組を実施している。



バリアフリー連絡アプリ (駅係員用)

- 2001年より接客技術の向上を目的とした接客サービス選手権を定期的に開催し、駅係員の案内技術向上に努め、評価の高い者には金色の名札を付与するなど、ソフト面での取組を実施している。



金色の名札



接客サービス選手権の様子



東急線アプリ (利用者向け) 画面

内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞
岡山市推薦

岡山放送株式会社 「手話が語る福祉」制作チーム

(岡山県岡山市)

【概要】

- 岡山放送「手話が語る福祉」制作チームは、1993年から手話付きのニュース特集の放送を実施している。「手話という言葉」を大切に、聴覚障害者と「手話放送委員会」を立ち上げ制作にあたり、画面の中の手話も通常の手話通訳者ではなく聴覚障害者自身が担当している。

これは「手話を言語」として生きる聴覚障害者とテレビを共有することの象徴であり、全ての人に正確な情報を伝えたいというメッセージである。また、手話講座や手話歌の制作など様々な取組を行い、手話への理解・普及に貢献している。

【功績・功労】

- 「手話が語る福祉」の放送

福祉をテーマに手話付きで月1回放送するニュース番組の特集「手話が語る福祉」を聴覚障害者とともに制作し、27年間で277回(2020年12月現在)の放送を実施している。また、手話付きの報道番組についても10年間で395回の放送を実施している。



ニュース特集「手話が語る福祉」



手話付き報道番組

- 聴覚障害者・手話通訳者・テレビ局の3者による「手話放送委員会」を立ち上げ、手話表現を検討し、聴覚障害者と番組を作り上げる取組や、全国の手話通訳者に対し、手話放送担当キャスターがテレビ放送における手話放送のポイントを説明するなど、手話放送の普及に貢献してきた。



手話放送委員会の様子

- 放送外でも手話への理解を深めるため、手話講座や自社イベントのアナウンサー朗読会で手話通訳を実施している。



手話講座の様子

- 子供たちに手話への理解を深めようと手話を使った歌を自社で制作し、ダンススクールの子供たちや岡山市にある聾学校の生徒と共演した。



手話歌の様子

- 西日本豪雨の際は、県聴覚障害者センターと協力の上、報道特別番組「豪雨災害を生き抜く」に字幕を付けたDVDを作成、全日本ろうあ連盟に50本を寄贈し、全国の加盟団体を通じて聴覚障害者に無料で貸し出している。



全日本ろうあ連盟にDVDを贈呈



字幕付き報道特別番組

内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞

厚生労働省推薦

セイコーウオッチ株式会社

(東京都中央区)

【概要】

- セイコーウオッチ株式会社は、腕時計の企画・開発・販売を行っており、その事業の一環で、視覚障害者のためのバリアフリー腕時計として、触れることで時刻を知ることのできる「触読時計」、時刻を音声で知らせてくれる「音声デジタルウオッチ」の企画・開発・販売も行っている。

同社のバリアフリー時計開発の歴史は古く、1939年、戦時中に負傷した軍人将校のために開閉蓋を設けた提げ時計タイプの触読時計を支給したことが始まりとなり、その後、現在に至るまで商品開発を続け、バリアフリー時計の普及活動に従事してきた。現在、「触読時計」、「音声デジタルウオッチ」両方の商品を扱っているのは同社のみである。

【功績・功労】

➤ 視覚障害者の就労支援

同社ではいち早くバリアフリー腕時計の企画、開発に着手し、1966年には機械式ムーブメントを用いた腕時計タイプの初代触読時計を発売し、視覚障害者の生活支援を行ってきた。触読時計の普及によって、視覚障害者のQOL (Quality of Life: 生活の質) は向上し、特に就労支援に大きく貢献したと考える。仕事において、時間管理は生産性、効率性を上げる上で非常に重要であり、いつでもすぐに時刻が確認できる



宮内省からの要請で、戦傷を負った軍将校用に対して支給される。開閉ふたを開け、針や略字を直接触れて時間が判読できるようにした。

初代バリアフリー提げ時計 (1939年発売)



ムーブメントを小型化。初代は手巻・機械式腕時計として登場。針をしっかりと固定するために針はネジで固定している。

初代バリアフリー腕時計 (1966年発売)

触読時計によって、視覚障害者の仕事効率を格段に向上させることができた。

➤ 使いやすいバリアフリー時計の企画・開発

触読式では、特殊なパッキンを用いた防汗構造を開発し、開閉蓋が開いた状態、閉まった状態どちらでも汗や水滴をシャットアウトできるようにした。針についても、指で直接針に触れても時計が止まらないような技術を開発した。そして、文字板全体を透明かつ耐久性の良い特殊な皮膜で覆うことで耐食性や耐摩耗性を向上させた。

1998年には「音声デジタルウォッチ」を発売した。後天的に視力を失った場合、触読時計の時刻を指先で読むことにはかなりの慣れが必要であり、音声での確認の方が確実に時刻が分かるため、これら視覚障害者のバリアフリー時計として愛用されている。



音声デジタルウォッチ (1998年発売)

➤ ユーザーに寄り添った製品開発

視覚障害者からの「普通の人たちと同じようにおしゃれな時計を着けたい」などの要望を踏まえ、機能性だけでなく、ファッションアイテムとしての役割も加えた製品を企画・開発・販売し、視覚障害者のQOL向上に貢献している。



ピンクの文字板を採用するなど、女性の視点を取り入れた触読時計 (2020年発売)



音声デジタルウォッチの試作品の中では、ランニング系ウォッチで人気のスポーティーなレッドや、より華やかな艶ピンクゴールド、かわいらしいコーラルピンク等、カラーバリエーションを試作。ヒアリングを通して、左上の最終モデルに決定 (2020年発売)。

➤ 低価格化の実現

バリアフリー時計は、市場が極めて小規模で製造コストが高いところ、企業利益を考慮しない社会福祉商品として低価格化 (1万円台) を実現している。

内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞

文部科学省推薦

Palabra株式会社

(東京都新宿区)

【概要】

- ^{パラブラ} Palabra株式会社は、視聴障害者団体と共同で長年にわたって映画鑑賞における情報保障の在り方を研究・開発してきた経験をもとに、2013年、バリアフリー字幕・音声ガイドの制作専門とする会社として設立された。従来のバリアフリー映画では、スクリーンに字幕を投影したり、副音声を同時に流す等の対応が一般的で、非常に限られた上映しか出来ていなかったが、同社の取組は、特殊な技術等によって最小限の機器があれば、健常者と障害者が違和感なく一緒に鑑賞可能な工夫をしている。また、「文化芸術をすべての人に開かれたものにする」をスローガンに、現在は映画のみならず、演劇を始めとする文化芸術分野において、バリアフリー化推進のための活動を続けている。

【功績・功労】

- バリアフリー字幕や音声ガイド制作の際は当事者性と作品性を大切にするため、映画監督やプロデューサー等映画製作者と視聴覚障害者と一緒に検討会を実施する。障害者に伝わりやすく、作品の制作意図や背景を正確に理解して作る字幕や音声ガイドを付与することで、バリアフリー映画の質の向上に努め、年間80本前後の映画作品のバリアフリー化を実施している。



映画字幕 (セリフ)



映画字幕 (効果音)

「蝶の眠り」©2017 SIGLO, KING RECORDS, ZOA FILMS

- 映画作品のバリアフリー化のため、バリアフリー映画研究会、メディア・アクセス・サポートセンターや各当事者団体とタイアップしながら、メガネ型端末やスマートフォンを使った新しい映画鑑賞システムアプリケーション「UDCast」を開発し、映画館等で字幕や音声ガイド付きで映画鑑賞可能な工夫・取組を実施している。



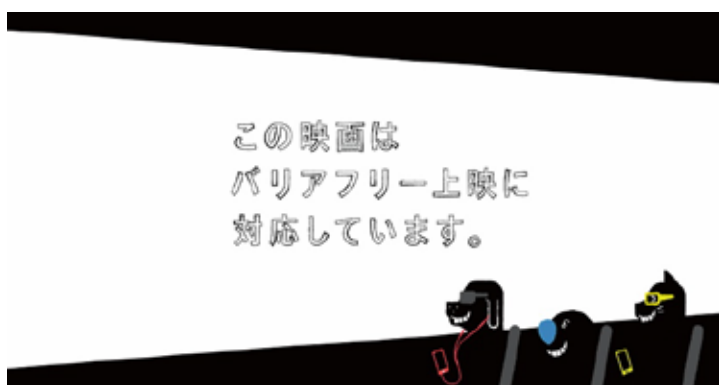
UDCast (初期画面)



UDCast (作品選択画面)



メガネ型端末



バリアフリー上映専用の案内映像

- 長年の映画で培ってきたノウハウを生かし、バリアフリー演劇の制作、コーディネートを実施、視覚障害当事者を監修として迎え、作品そのものだけではなく、その前後も含めて鑑賞者が安心して楽しめる場づくりを行い、あらゆるバリアを取り除いた演劇の楽しみ方を進化させている。



演劇での舞台手話通訳



バックステージツアー
(演劇終了後に視覚障害者が衣装に触れる)

- 今回のコロナ禍を受け、自宅等でのバリアフリー映画の鑑賞ができるよう、バリアフリー字幕・音声ガイド付きの配信や、映画の視聴者がオンライン上で感想を述べあう「オンライン感想共有会」の実施に取り組んだ。

内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞
京都府推薦

奥 山 梨 衣

(京都府木津川市)

【 概 要 】

- ^{おくやまりえ}奥山梨衣氏は、^{たん}寝たきり全介助の重度心身障害児である長男の気管切開により、痰の吸引が常時必要となったことで、医療的ケア児者の生活をサポートする「SKIP & CLAP」(スキップ アンド クラップ)を立ち上げ、当事者である母親目線で、使いやすさと品質を兼ね備えた吸引器用バッグ「CARErry BAG」を自ら開発した。自身の外出する機会が減り、引きこもりがちになった経験から、他の医療的ケアが必要な子どもを持つ母親と出会い、交流することをきっかけに他人と社会と繋がることの大切さを実感し、子どもにもそして悩める母親達にも笑顔を取り戻したいという強い思いを込めて活動している。当事者として考えた新しいアイデアで在宅生活を快適に豊かにし、子どもの病気や障害を機に社会から離れてしまった母親達の社会参加に貢献している。

【 功績・功労 】

- QOL (Quality of Life: 生活の質) の向上

奥山氏開発のバッグは、吸引器を持ち運ぶだけの容器でしかなかった従来品とは異なり、吸引手技を妨げない機能性を有し、患者の苦痛時間を減らし、QOLを向上させた。また、医療補助具としての効果もある「医療用携帯バッグ」として特許を取得している。



奥山氏開発の吸引器用バッグ①

- ※必要なものがまとめて入る構造
- ※災害時にも有効



奥山氏開発の吸引器用バッグ②

- ※吸引器専用エリア物品エリアを区別
- ※バッグに入れたままでも、スムーズに吸引できるよう設計



奥山氏開発の吸引器用バッグ

- ※吸引器に合わせた4つのタイプ
- ※実用性とファッション性を考慮

従来品は、吸引時に必ず必要な付属物品を入れるスペースすらないものも多く不便であった。

また、大きなフタが吸引の妨げになるなど、ユーザビリティに欠けるものが多かった。

・この吸引器バッグを見て「この子と出掛けてもいいんだ」と思いました。
早く退院してお出掛けするのが楽しみです。

・バッグを見るたびに、辛くても同じように頑張っているママがいると思え頑張れます。

・吸引が多く億劫だったお出掛けが、使いやすいバッグのお陰で楽しみになりました。

単なるバッグではなく、ママ達の
心の支えになっている！

・また、私が活動し、社会の役に立つことで、ママ達も自分の人生をあきらめないでほしいというメッセージも送り続けている

奥山氏開発の吸引器用バッグ購入者からの声

➤ ソフト面でのサポートにも尽力

製品開発によりハード面で日々のケアの負担軽減に寄与するとともに、我が子の病気や障害と向き合い、不安の渦中にある母親に寄り添い精神的な支えになれるよう、地域及び全国の医療的ケアが必要な子どもを持つ母親達とネットワークを構築し、ソフト面でのサポートにも尽力している。



SKIP CAFE

※医療的ケアが必要な子どもを持つ保護者の交流の場として、奥山氏の自宅で月1回開催
(奥山氏自身が同じ境遇の母親との交流で笑顔になれたことがきっかけで開催)

内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞

神奈川県推薦

神奈川トヨタ自動車株式会社

(神奈川県横浜市)

【概要】

- 神奈川トヨタ自動車株式会社は、2017年、トヨタ自動車株式会社から販売されたユニバーサルデザインタクシー「JPN TAXI」の普及のため、「社会に貢献できるような新サービスを開発できないか」、「ユニバーサルデザインのタクシーを販売するのであれば、ドライバーマナーのユニバーサルデザイン化が必須」という発想のもと、「ユニバーサルエスコートマナー講習」の実施や「神奈川トヨタ方式」を開発し、移動円滑化の促進に貢献している。

【功績・功労】

- 「ユニバーサルエスコートマナー講習」の実施

同講習は、タクシードライバー向け接客応対力向上のためのオリジナルプログラムであり、高齢者や車椅子利用者のエスコート方法、視覚障害者へのガイドサポート、聴覚障害者への手話と手話以外によるコミュニケーション、補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）の種類に応じた対応などについての講習を実施している。



ユニバーサルエスコートマナー講習の様子（手話・車椅子補助・視覚障害体験）

同講習の開発にあたっては、かながわ福祉移動サービスネットワーク、横浜移動サービス協議会、特別支援学校、デイサービス、神奈川県助産師会、横浜市手話通訳奉仕団たつの会、横浜市総合リハビリテーションセンター、理学療法士会などからの情報とタクシー利用者の声に加えて、サービス提供を行うタクシードライバーの意見も反映している。

➤「神奈川トヨタ方式」の開発

同社では、「JPN TAXI」の普及が進むにつれ、車椅子で乗降する際の作業工程の多さや取扱いの煩雑さへの改善要望が、利用者や事業者から多く寄せられたため、乗降用スロープの設置を簡便にするためのオリジナル装置を付加した「神奈川トヨタ方式」(※)を開発し、その使い方を動画サイトにアップするとともに実車を使った講習も実施している。

(※車椅子の乗降時に重要なスロープの取付作業において、事前準備、連結作業の工程数の削減により、乗降時間を大幅に短縮させている。)



①あらかじめ組み立てたスロープ



②スロープを座席下に収納しておく



③乗降の様子



④シートベルトの着用

内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞

福岡市推薦

大日本印刷株式会社

(東京都新宿区)

【概要】

- だいにっぽん
- 大日本印刷株式会社は、高齢者、障害者、妊婦や子供連れなどの「手助けを求める人」と「手助けできる人」をマッチングする機能を中心に、手助け行動を促進・可視化するソーシャルアクションサービス「May ii」(メイアイ)を提供している。同アプリは、“手助けしたい気持ちはあるけど躊躇してしまう”という誰もが持っている「心のバリア」を取り除き、気軽に“May I help you?”を言える日本人を増加させるために開発されたものである。同アプリを利用することで、手助けを求めることも手助けすることも気軽にできるだけでなく、手助けした人の多くが手助けのハードルが下がり、周囲の困っている人や街のバリアに気づくようになるなど、意識・行動の変容にもつながっている。

<登録・利用状況 2020年10月2日時点>

30,050件ダウンロード

8,537人登録

3万2214人
サポート待機

2,445件
サポート依頼

946件 = 約38%
手助けマッチング

<アプリを過した効果>

お出かけの
ハードルが下がった

56%

手助けの
ハードルが下がった

81%

周囲の“困っている人・街のバ
リア”に気づくようになった

67%

アプリ「May ii」の登録・利用状況とその効果

【功績・功労】

- 気軽に助け合いを実践

同アプリを通じて「手助けを求める人」と「手助けできる人」をGPSでの位置情報共有によりマッチングさせることで、気軽に助け合いを実践できる。また、自らの貢献行動が数値化されるなどの「可視化機能」により実感できる。



スマホがつなく、助けあいアプリ

ミッション機能で困りごとや手助けを学び

対面サポート機能で様々な人とふれあい

自らの行動をポイントやキャラクターの成長で実感する

個人が社会に参画しやすくなるアプリです。

手助けを促進する機能

「手助けを求める人」と
「手助けできる人」を
つなぎ、助け合いを促進する

気付く
助ける

知る
学ぶ

見える
シェア



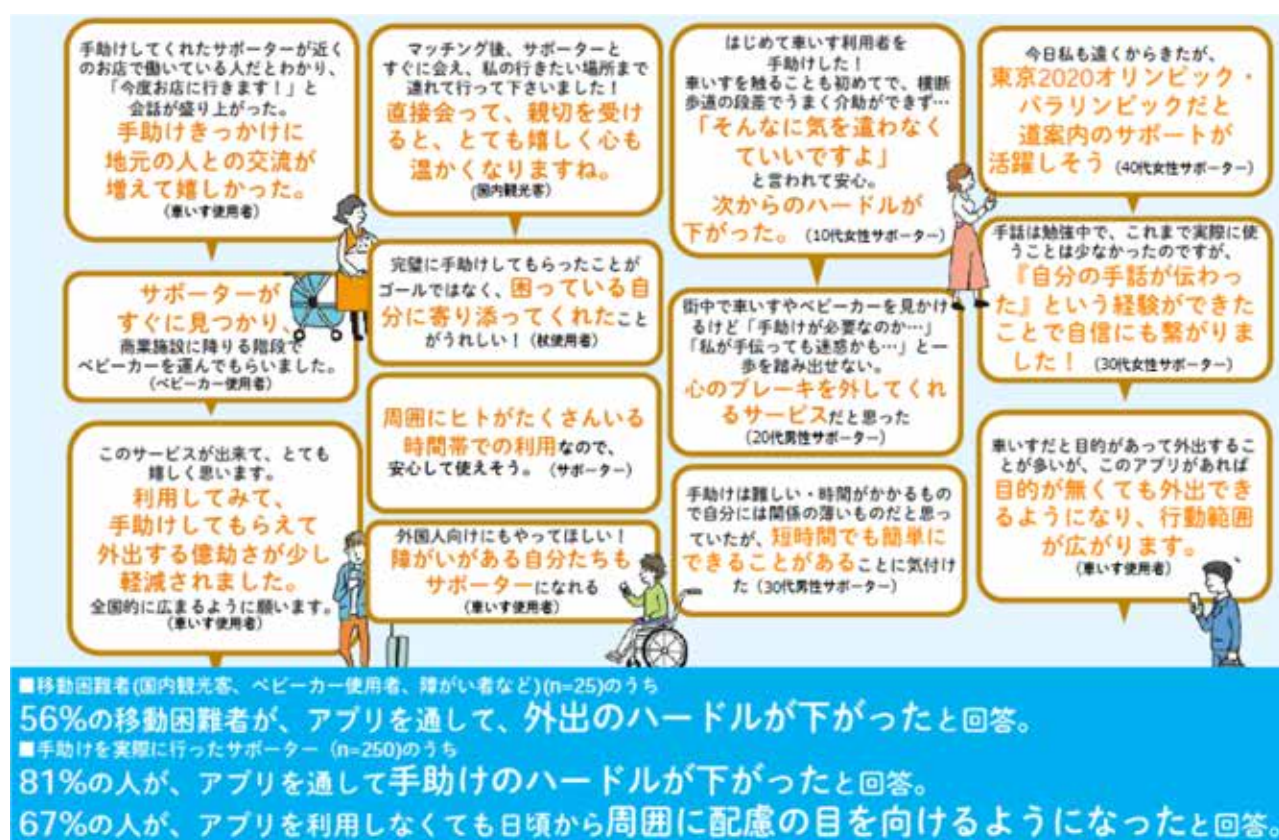
アプリ「May ii」の概要

➤ 意識・行動の変容

アプリ利用者へのアンケートでは、手助けに関わる意識・行動の前向きな変容が確認されている。

例えば、アプリを通して実際に手助けをしたサポーターのうち、81%が「手助けのハードルが下がった」と回答し、67%がアプリを利用しなくても「日頃から周囲に配慮の目を向けるようになった」と回答するなど、意識変容につながっている。

一方、手助けを求める側（ベビーカー使用者や障害者などの移動困難者）からは、アプリによって実際に手助けを得られるだけでなく、自身自身の周囲にいるサポーターの数が分かり、“心理的な安心材料”となり、56%から「外出のハードルが下がった」との回答があった。また、手助けを通してコミュニケーションが生まれ、地域交流が自然と生まれることが魅力との回答も得ている。



アプリ「May ii」利用者の声

➤ 障害者の雇用促進

同社は、障害を持つ人々の活躍の場を広げ、多様な人材の雇用を一層促進することを目的として、2019年に障害者雇用に特化した100%子会社を設立し、同年、障害者雇用の促進等に関する法律に基づく「特例子会社」として厚生労働大臣の認定を取得した（2020年12月現在、従業員57名：うち障害者37名）。

内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞
高知県推薦

特定非営利活動法人 福祉住環境ネットワークこうち

(高知県高知市)

【概要】

- 特定非営利活動法人福祉住環境ネットワークこうちは、誰もが暮らしやすい、出掛けやすい、訪れやすいまちを目指し、医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識を身につけ、各種の専門家と連携をとりながら適切な住宅改修プランを提示する「福祉住環境コーディネーター」を配置し、高齢者や障害者に対して住み慣れた地域で住みやすい住環境を提案し、その活動を起点として、「タウンモビリティ事業」や「バリアフリー観光相談事業」へ活動を広げることで、まち全体のユニバーサルデザイン化に貢献している。

【功績・功労】

- 「タウンモビリティ事業」によるまちづくり

誰もが安心して出掛けられるまちの拠点として、障害のある人など移動に配慮が必要な人を対象に、2015年に高知県で初めて、車椅子・ベビーカー等の貸出しやボランティアによる買い物の付き添い等のサポートを行うタウンモビリティステーション「ふくねこ」を開始し、高齢者や障害者の外出支援を実施している。



タウンモビリティステーション「ふくねこ」



外出支援の様子

また、タウンモビリティ事業の一環として、地域の多様な人々を対象としたコミュニティカフェを定期的に開催しており、例えば、気軽に手話を学べる講座や、足や爪のトラブルに悩む人への正しい靴選びから歩き方のアドバイスをする相談室などがあり、積極的な外出のきっかけとなっている。

➤ 「バリアフリー観光相談事業」によるまちづくり

2020年に高知県で初めて、誰もが安心して高知県観光を楽しめる手助けをするバリアフリー観光相談窓口を設置し、高齢者や障害者、子ども連れなどのそれぞれの困りごとに合った情報提供、県内の観光・宿泊施設、交通機関、観光案内所との連携による安全安心な観光の提案や、車椅子・ベビーカー等の貸出しを行っている。

また、県内の観光・宿泊施設、交通機関のバリアフリーの状況について、現地に赴いて調査し、窓口や県のウェブサイトで紹介するとともに、調査先へのバリアフリー化の提案も実施している。



京町窓口
(ふくねこ内)



とさてらす窓口
(高知観光情報発信館とさてらす内)

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

～これまでの受賞者一覧～

	第1回受賞 平成14年度 (2002年度)	第2回受賞 平成15年度 (2003年度)	第3回受賞 平成16年度 (2004年度)
内閣総理 大臣表彰	新井リゾート開発 株式会社	京成ホテル株式会社	湖南省
	下田タウン株式会社		南砺市
内閣官房 長官表彰 (第3回 までは、 内閣官房 長官表彰 となる。)	Accessible盛岡	伊勢佐木町1・2丁目 地区商店街振興組合	荒 由利子
	伊丹市	岐阜経済大学まちなか 共同研究室マイスター 倶楽部	伊予鉄道株式会社
	財団法人共用品推進機構	訓子府町	株式会社 イトーヨーカ堂
	株式会社京急 ファインテック	医療法人圭佑会 澤齒科医院	株式会社 オリエンタルランド
	財団法人 すこやか食生活協会	伊勢原・誰もが住みよ い街づくり懇話会	高齢者住宅環境整備 ボランティア会
	NPO デイヘルプ	NPO 日本サスティナブル・コミュニティ・センター	仙台シニアネットクラブ
	NPO 福祉のまちづくり 市民ネットワーク	肥後タクシー有限会社	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備 支援機構、 九州旅客鉄道株式会社
	バリアフリーデザイン 研究所	広島電鉄株式会社	
	むくどりホーム・ ふれあいの会	福岡県田川郡 大任町立大任小学校	トヨタ自動車株式会社
		村山 輝子	
		有限会社料亭こもだ	

※1 「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」は、第6回までの間、「バリアフリー化推進功労者表彰」として実施

※2 「受賞者」の名称は当時のままの名称で記載している

※3 NPOとは、特定非営利活動法人（NPO法人）の略。

	第4回受賞 平成17年度 (2005年度)	第5回受賞 平成18年度 (2006年度)
内閣総理 大臣表彰	東陶機器株式会社	コクヨ株式会社
	NPO 大阪障害者雇用 支援ネットワーク	
内閣府 特命担当 大臣表彰	大牟田住まい・まちづくり ネットワーク	ケア付き青森ねぶた 「じょっぱり隊」
	奥野 花代子	京王電鉄株式会社
	東京急行電鉄株式会社	公立豊岡病院組合
	福岡市交通局	NPO シーエス障害者 放送統一機構
	有限会社雅樹雅	とっておきの音楽祭 実行委員会 S E N D A I
	有限会社ハートフル・ウィング	富山ライトレール株式会社
		平田観光株式会社
		THE MAGICAL TOY BOX

	第6回受賞 平成19年度 (2007年度)	第7回受賞 平成20年度 (2008年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	品川区立戸越台中学校
	中部国際空港株式会社	富士ゼロックス株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	岡山県立興陽高等学校	イオン九州株式会社 イオン鹿児島ショッピングセンター
	花王株式会社	泉北若松台A B住宅 団地管理組合
	京都リップル	全国障害学生支援センター
	NPO 全国視覚障害者情報提供施設協会	豊中市
	凸版印刷株式会社	横浜市交通局
	はあとねっと輪っふる	
	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	
	ユニバーサルデザインリフォーム プラザ静岡	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	大洗サーフ・ライフセービングクラブ	池野通建株式会社
	大阪市交通局	五木村立五木中学校・ 熊本県立人吉高等学校五木分校
	大日本印刷株式会社	株式会社袖ヶ浦自動車教習所
	トーフ株式会社	NPO 伊勢志摩バリアフリー ツアーセンター
	NPO 子育て支援のNPOまめっこ	NPO 市民生活支援センター ふくしの家
		NPO はままつ子育てネットワーク ぴっぴ
		NPO プロジェクトゆうあい
		ピュア・フィールド風曜日
		北極しろくま堂有限会社

	第8回受賞 平成21年度 (2009年度)	第9回受賞 平成22年度 (2010年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社東京信友	NPO Color Universal Design Organization
		日本理化学工業株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	株式会社サンエ芸
	カシオペア連邦はーとふる発見隊	株式会社特殊衣料
	株式会社タカラトミー	株式会社日立製作所 ユニバーサルデザイン 出前授業プロジェクトチーム
	財団法人安全交通試験研究センター	東京電力株式会社
	財団法人明治安田こころの健康財団	NPO ウィズアス
		有限会社アイ・シー・アイ デザイン研究所
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	尼崎交通局	あい・あーる・けあ株式会社
	NPO 子育てネットすくすく	刈谷市総合文化センター アイリス
	NPO 多文化共生センターきょうと	
	NPO ユニバーサルデザイン・結	

	第10回受賞 平成23年度 (2011年度)	第11回受賞 平成24年度 (2012年度)
内閣総理 大臣表彰	ケージーエス株式会社	シナノケンシ株式会社
		社会福祉法人 全国手話研修センター
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	オムロン ソーシャル ソリューションズ株式会社	NPO U Dくまもと
	株式会社富士レークホテル	埼玉県警察本部交通部交通規制課
	株式会社 湯郷プラザホテル 季譜の里	社会福祉法人 太陽の家 サンストア
	株式会社らむれす・三角山放送局	日進市立図書館
	NPO まちづくり推進機構岡山	南医療生活協同組合
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	国際ユニバーサルデザイン協議会	早稲田大学ボランティアサークル 積み木の会

	第12回受賞 平成25年度 (2013年度)	第13回受賞 平成26年度 (2014年度)
内閣総理 大臣表彰	日本聴覚障害学生高等教育支援 ネットワーク (PEPNet-Japan)	和歌山県立博物館施設活性化事業実 行委員会・和歌山県立博物館
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	株式会社アメディア	藤野 稔寛
	NPO ケーネット知楽市	株式会社電制
		日本ブラインドサッカー協会
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	いしかわ総合スポーツセンター	大口町立大口南小学校
	有限責任事業組合 A S I 栃木	てまるプロジェクト
	有限会社川藤	
	京都府立京都八幡高等学校・ 京都府立八幡支援学校	
	シティホールプラザアオーレ長岡	

	第14回受賞 平成27年度 (2015年度)	第15回受賞 平成28年度 (2016年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社オーエックス エンジニアリング	株式会社ジェイ・ティ・アール
		株式会社静岡新聞社・ 静岡放送株式会社 メディア・ユニバーサルデザイン プロジェクトチーム
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂	有限会社さいとう工房
	川端鉄工所株式会社	なにわ一水
	株式会社主人公	
	地域共生型 福祉施設整備協議会	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)		ヤマハ株式会社新規事業開発部 SoundU Dグループ
		座間キャラバン隊

	第16回受賞 平成29年度 (2017年度)	第17回受賞 平成30年度 (2018年度)
内閣総理 大臣表彰	仙台市交通局	有限会社 エクストラ
	全日本空輸株式会社・ ANAウイングス株式会社	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	石狩市	社会福祉法人 愛知たいようの杜
	株式会社エスコアール	明石市
	道の駅 常陸大宮	合同会社 Chupki
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	オプトニカ工房有限会社	藤巻 進
	篠原電機株式会社	富士見高原リゾート 株式会社
	戸田市立笹目小学校	
	株式会社スワン	

	第18回受賞 令和元年度 (2019年度)	第19回受賞 令和2年度 (2020年度)
内閣総理 大臣表彰	一般社団法人日本玩具協会	株式会社 アステム
		東急電鉄株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	WHILL株式会社	岡山放送株式会社「手話が語る福祉」 制作チーム
	中橋真紀人	セイコーウオッチ株式会社
	特定非営利活動法人バリアフリー ネットワーク会議	Palabra株式会社i
	富士市	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	株式会社システムギアビジョン	奥山梨衣
	特定非営利活動法人せんだいアビリ ティネットワーク	神奈川トヨタ自動車株式会社
	株式会社ファンケル	大日本印刷株式会社
	特定非営利活動法人横濱ジェントル タウン倶楽部	特定非営利活動法人福祉住環境ネット ワークこうち

	第19回までの 受賞件数
内閣総理 大臣表彰	内閣総理大臣表彰 29件
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	内閣官房長官表彰 (1回～3回) 28件 内閣府特命担当大臣表彰 (4回・5回) 14件 内閣府特命担当大臣表彰 優良賞 (6回～19回) 58件
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞 (6回～19回) 45件
	総計 174件

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領

平成13年11月6日
バリアフリーに関する関係閣僚会議決定
平成29年4月3日
一部改正

1 目的

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的とする。

2 表彰の対象

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、極めて顕著な、又は特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体

3 表彰者

極めて顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣総理大臣、特に顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣官房長官（ただし、高齢社会対策又は障害者施策を担当する内閣府特命担当大臣が置かれている場合には当該大臣。以下「担当大臣」という。）

4 表彰の方法

表彰状及び記念品

5 表彰の時期

表彰は、年一回行う。

6 表彰の手続

都道府県等から推薦された者のうちから、別に定める選考委員会の意見を聴いて、内閣総理大臣又は担当大臣が被表彰者を決定する。

7 表彰の事務

表彰に関する事務は、関係各省庁の協力を得て、内閣府において行う。

8 その他

この要領に定めるもののほか、表彰の実施に関し必要な事項は、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）が定める。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰
選考委員会 委員名簿

委員長

高橋 儀平 東洋大学名誉教授

委員

飯野奈津子 N H K 専門解説委員

勝尾 岳彦 株式会社コンシリウム代表取締役

元日経BP社日経デザイン編集委員

金子 健 明治学院大学名誉教授

篠 佳子 国立障害者リハビリテーションセンター非常勤講師

関根 千佳 株式会社ユーディット会長・シニアフェロー

同志社大学大学院総合政策科学研究科客員教授

長岡 英司 社会福祉法人日本点字図書館館長・常務理事

久松 三二 一般財団法人全日本ろうあ連盟事務局長

藤本 浩志 早稲田大学人間科学学術院教授

(敬称略、50音順)

**内閣府政策統括官 (政策調整担当)
(参事官 (総合調整担当))**

〒100－8914

東京都千代田区永田町1－6－1

中央合同庁舎第8号館8階

電話：03－6257－1445

FAX：03－3581－0699

<https://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/bf-index.html>